2024年度　伊豆急ケーブルネットワーク　　第15回 番組審議会　議事録

日　時：2025年3月11日（火）　10:00～11:30
場　所：株式会社伊豆急ケーブルネットワーク本社事務所　会議室

番組審議会 出席者
　委員：富岡 篤美 委員（会長）、杉山 修 委員（副会長）、平田 小百合 委員、市川 正樹 委員
　（石渡 久照 委員、岩上 由美子 委員、浅見 和明 委員は欠席）

事務局：三井 大峰（代表取締役 社長）、関本 誠男（コンテンツ事業部 事業部長）、橋辺 淳（コミュニティチャンネルチーム リーダー）、石井 美由紀、大川 裕

陪席者：関 茉林（IKC 業務委託「YOUYOU 湯河原」番組ディレクター）

議題
　(1) 前年度審議番組についての振り返り（反映報告）

　(2) 対象番組についての審議

　(3) 弊社事業トピックス

開会挨拶
三井 大峰（代表取締役 社長）
　番組審議会の趣旨、放送法について説明。
　当社の番組について、審議員の皆さまより忌憚のないご意見をいただき、
　地域に根差したよりよい番組づくりにいかしていきたい。

議事内容

(1) 前年度審議番組についての振り返り（反映報告）
番組名　**地域ど密着バラエティ　「THIS IS ITO」**
　　「Passion！SS 伊豆」
　　「ぼくたちわたしたち　もうすぐぴかぴかいちねんせい」

・ご意見　（THIS IS ITO）
インタビューする場所の背景（ロケーション）を少し工夫できれば良い
・反　映　冒頭顔出しやインタビューの際には、そのイベントの会場や雰囲気が分るものを意識して背景にするよう心掛けております。

・ご意見　（THIS IS ITO）
あまり日の当たらない文化部の活動を取り上げることは、ある種の福祉活動に近い側面もあると思うので、そういうところを継続的に取材していただきたい。
・反　映　本年度も交流や生きがいづくりを目的とした、市の高齢者福祉課を中心とした事業「居場所」の取材や、子供が動物と触れ合う「出前動物園」振興公社の文化普及事業「学校訪問ミニコンサート」といった福祉活動を積極的に番組に取り上げてまいりました。

・ご意見　（Passion!SS 伊豆）
番組が突然始まったが、最初にスタジオの司会者の社会人リーグの簡単な説明があった方が良かった。
・反　映　毎回番組冒頭に、日本フットボールリーグの構成図とナレーションでリーグの説明を行ってから番組内容に入るよう工夫をいたしました。

・ご意見　（ぼくたちわたしたち　もうすぐぴかぴかいちねんせい）
同じアングルが続くと観ている人が飽きるので、寄り引きなどの動きをもっとつけるとよい。
・反　映　園児のポーズなどの動作を意識して、一人一人の園児で寄りと引きの 2 種類のアングルを使い動きを付けるよう工夫しております。

（3） 対象番組についての審議

審議対象番組　「IKC スポーツ番組」
（オール伊豆ママさんバレー・オール伊豆少年野球
学童部大会・U-10 レアーレカップ）」
「地域ど密着バラエティ　YOUYOU 湯河原」

番組概要
「IKC スポーツ番組
（オール伊豆ママさんバレー・オール伊豆少年野球学童部大会・
U-10 レアーレカップ）」
時　間　　各大会開催 2 週間後の週末をめどに。
放送ch　　IKC・伊東アンテナ協会ご加入の方　　いるかチャンネル　121ch
　　伊東テレビクラブ・東豆有線ご加入の方　　CVA　122ch

背　景　　IKC では、地域の話題を提供するコミュニティチャンネルとして、サービスエリア内で行われるスポーツ大会を積極的に収録、放送をしております。今回は、その中で毎年放送しご好評をいただいております 3 つのスポーツイベント
「オール伊豆ママさんバレーボール大会」
（20 を超えるチームが伊豆地区の頂点を目指すバレーボール大会）
「オール伊豆少年野球学童部大会」
（伊豆ナンバーワンの座をかけ熱戦が繰り広げられる少年野球大会）
「U-10 レアーレカップ 2024」（「本気と社会貢献」をテーマとし、県内外から 8 チームが参加した少年サッカー大会）を取り上げさせていただきました。
告知宣伝
　　コミュニティーチャンネル内　、X（旧ツイッター）
　　伊豆新聞　IKC 番組表

地域ど密着バラエティ「　YOUYOU 湯河原　」（隔週更新15 分番組）
放送開始　　2019 年 10 月 7 日～
時　間　　9:30、11:45、14:45、19:45、23:35 の一日 5 放送
放送ch　　IKC・伊東アンテナ協会ご加入の方　　いるかチャンネル　121ch
　　伊東テレビクラブ・東豆有線ご加入の方　　CVA　122ch

背　景　　弊社のサービスエリアは湯河原、熱海、伊東、東伊豆の 4 市町をまたいでおり、各地域のお客様より「自分の町の話題をもっと取り上げて

ほしい」との声にお応えすべく、各市町に特化した番組を作りました。
湯河原町・熱海市・伊東市・東伊豆町とそれぞれの担当が地域に入り込み、各地域に特化した番組を目指しました。
地域別の情報番組に統一性を持たせるためのサブタイトルとして 「地域　ど密着バラエティ」を掲げています。
今回はその中から湯河原町の話題を取り上げる番組「YOUYOU 湯河原」 を取り上げさせていただきました。ご審議いただくのは、2024 年 8 月に開催された湯河原町最大のイベント「やっさまつり」に密着した様子を、前後編にわたり放送したものです。

告知宣伝

コミュニティーチャンネル内　ニュース内、テレビCM
Ｘ（旧ツイッター）、 伊豆新聞　IKC 番組表

制作に対する思い

関　茉林（YOUYOU 湯河原」番組ディレクター）

YOUYOU 湯河原は「湯河原町のみなさんが主役」というコンセプトで制作をしております。
子供から大人、シニアの方まで幅広く楽しんでいただけるように、町の行事やボランティア活動などの町の方達　の活動、お店の紹介など幅広く取り上げるようにしております。
今回ご覧いただいたのは湯河原町の夏の一大イベントであります「湯河原やっさまつり」です。
この回では湯河原町役場よりお声がけいただきまして、初めて踊り伝として参加をいたしました。
参加者として取材することで、準備する方達の取り組みや思い、それから踊り伝の活気をよりリアルにお伝え出来たのではないかなと思っております。
お祭りの臨場感とお祭りを楽しむ踊り手、そして観客の皆さんの生き生きとした様子を感じてもらいたいと思い制作した番組になっております。

岩上委員（欠席の為、事前にメールで頂戴した）

「IKC スポーツ番組」

ママさんバレーは試合中表示されているチーム名のところにも市町村名があればいいな、と思う。
ダイジェストだったのでわからなかったけどメンバーの名前が最初か後に出るとよい。
体育館の構造上、どうしても後方からの撮影になってしまうと思いますができるだけ斜めからにするとさらにボールの行方がわかりやすいのではないでしょうか。

レアーレカップは子供のサッカーの試合といことで躍動感あるカメラワークがとても良かったです。
やはりダイジェストだったため不明ですがメンバー表があると出場した関係者はうれしいのではないでしょうか。
監督等の優勝インタビューも欲しかったです。

学童野球は同じく試合中のチーム名に市町村名が欲しいです。
網代と熱海と書いてあるからわかるのでは？と思うかもしれませんが、例えば地区名が付いているチームでは市の名前がわかりませんので。
同じくダイジェストなので不明ですが選手のメンバー表が最初か最後に出るといいな、と思います。

「YOUYOU 湯河原」

YOUYOU 湯河原のやっさまつりはこれだけ長尺で放送するのであれば本番でもっと他のチームの踊りをしっかり見せた方が良いと思います。全体に長くダラダラとした印象でした。やっさまつりがいつからおこなわれていてどういったチームが参加しているのかがわかりませんでした。何時からどのような場所を何組のチームが踊るのか、という説明がテロップになっていましたが声でも欲しかったです。途中の映像が声の解説(ナレーション)がないため単調になっていました。
あとこれは番組とは直接関係ないのですが、このようなイベントは職場の義務で参加している人も多くどうしても楽しそうに踊っているように見えなかったり踊りに覇気がなかったりするのですが、まりんさんはとても楽しそうで良かったと思います。

浅見委員（欠席の為、事前にメールで頂戴した）

「IKC スポーツ番組」

3競技共に、一生懸命プレーしている姿に心打たれました。
各チームの紹介やインタビューを織り交ぜながら、各競技の歴史、特に少年サッカー、野球から巣立った選手（有名な選手等々）の紹介なども組み込むと興味も増すのではないかと思います。

「YOUYOU 湯河原」

「やっさまつり」について
全般的に祭りの楽しさ、ワクワク感が滲み出ており、終始観る側も笑顔で楽しめました。
他の連（団体）へのインタビューも良い取り組みと感じられました。踊りが始まる前の夕方の薄暗さ

と提灯の灯りのコントラストも、祭り開始直前の高揚感を一層高めており、印象深いシーンであったと思います。
関さんが一人で黙々と踊りの稽古をするシーンは、この番組で一番のインパクトだったかもしれません（笑）
一点だけ、この「やっさまつり」の語源、由来も含めて、歴史的な説明があってもよかったのではないか。

市川委員
「IKC スポーツ番組」
上から撮っていると顔も見えないので、サッカーのように下で撮ったほうがいいのかなと思いました。
顔と選手の名前を入れたり、字幕があると面白味があるのかなと思う。

「YOUYOU 湯河原」
やっさまつりはいつごろからどういう経緯で始まったのか、何チーム何人くらい参加しているのかもあると良かった。
色々なチームを少しずつ撮ったり、見ている住民の皆さんの感想などもあれば、もっと面白くなったと思う。

杉山副会長
「YOUYOU 湯河原」
やっさまつりの補足です。
実際は踊りと太鼓と神輿も放送しています。
全体的に良く撮れていたと思います。
「IKC スポーツ番組」
意気込みや感想を入れたり、子供たちが走り回ったりしているのがあっても良かったと思います。

富岡会長
「IKC スポーツ番組」
色々な番組があるが、たぶんスポーツ番組とイベントのお祭り系の番組は最も難しい番組のコンテンツだと思う。
通常は全国ネットの局などのスポーツ番組はかなりのカメラ台数で撮影する。
いろいろな角度で撮影したものを編集して、視聴者が納得するようなスポーツ番組を作るのはとても難しいと思う。
定点で撮影しがちですが、定点と動きながらの、アングルが全然違うので両方を上手く加味してやったら面白いと思う。
スポーツはカメラ複数台必要なのかなと思いました。

「YOUYOU 湯河原」
毎年テレビで阿波踊りを観ます。
列を追いかけているカメラと、メイン会場の定点の映像を組み合わせながら番組を作っています。
メイン会場と審査会場を定点で撮影すれば順番に全部のグループを撮影出来る。
やっさまつりの場合は神輿や山車もあるから、そういうのも放送してあげるとこんなにいっぱいいろんなことをやっているのが分かるし、今回のように参加型で内部の方と汗をかきながらワイワイやっているという臨場感もいいと思うので、両方必要なんですね。
それを上手く編集して視聴者に見せるのはとても手間暇かかるし、大変な作業だと思うんですけどある意味スポーツとかこういうイベントというのは局のクオリティーを問われることなので、ここはがっちり頑張ると結構いい放送局だな　というように思われるんじゃないかなと思いました。

平田委員
「IKC スポーツ番組」
試合の様子は伝わってきたが、バレーボールは定点カメラの映像だったので、上からとってネットプレーなど、違う角度から試合が見たかった。
ジュニアサッカーは躍動感のある映像で、試合の盛り上がりの様子が伝わってきたので、この中では一番楽しめました。
選手の表情をゴールに行ったときに寄って見れたりしたら良かった。
表彰式の嬉しそうな子供たちの表情が印象的でした。
あと、最後のエンディングのカラフルなサッカーシューズがばあっと並んだのも良かった。
少年野球はネットですごく見づらくて、ホームビデオのようで誰でも撮れるかなというのがあったのと、オープニングとエンディングで全然違う映像が流れたので、そのアングルで試合全体が見れたら楽しかったかなと思います。
「YOUYOU 湯河原」
インタビューの内容とか意気込みのテロップが毎回あって、音に臨場感もあってすごく見やすかったです。
「やっさまつり」の由来が分かるように番組の初めにメモで出してくれたら良かった。
関さんが一人で練習しているときに歌詞の字幕があったら良かった。
審査があるということだったので、どんな審査で結果はどうだったのか、コース紹介のメモの時に簡単なコースマップがあればより分かりやすかったと思う。
後半のダイジェストで流れる映像が本編で見れたら良かった。
太鼓を叩いたり山車が出たりといった映像を途中に組み込んだら飽きが来ない番組が見られたかなと思いました。
あと、時間が経つにつれて賑やかさが伝わってきたり、踊りが終わった後の達成感も伝わってきたので、そこは見どころだなと思います。
盛大なお祭りなのでもっと何か違う形で宣伝出来たらいいなと思いました。

ロングバージョンもちょっと見たんですが、最初に「準備中」が出て、この準備中どうするのかなと思った。
司会（大川）
様々な角度からご意見をいただきありがとうございます。
この場には企画や制作、撮影、編集スタッフも揃っておりますので、現場などでこういったことはどうやっているの？など、ご質問があればお寄せいただければと思います。

杉山副会長
よく現場を立ち会わせていただくんですが、少ない人数で頑張っているなと思っています。
子供など出演大丈夫であれば、この子は大丈夫ですよとアドバイスはしているんですが、スポーツは、始まる前に主催者と打合せをしているんでしょうか？

橋辺
最初に主催者に撮影の許可をいただいています。
プログラムをみて、弊社の放送エリアのチームや学校を優先して取るようにカメラマンを配置したり、撮影場所の打ち合わせをしています。

市川委員
カメラマンが一人だと、ずっといなければならないから大変だなと思います。

橋辺
今回見ていただいた少年野球は真夏の開催で、昨年は特に酷暑だったので 6 回まで一人は大変でした。
同時に 4 会場で開催されるため、カメラマンの数上一人で 1 試合を取らざるをおえない。
絵的に単調になってしまうのは私も何か工夫をしたいと思っています。
富岡さんも仰っていたように、民放のスポーツ中継はカメラが何台もあり、色々なアングルからその場でスイッチャーで切り替えて、いいところを切り取って見せると臨場感もでてきます。
私たちもカメラの台数、人件費も許されれば複数台で臨場感のある放送とか、さらに贅沢を言えば司会と実況なんかを加えてやりたいなと思っております。

富岡会長
生（中継）だったら絶対にできないけれど、編集ができるから、カメラマンがインタビューを撮ったり、追いかけることをして、例えば人を付けずに定点カメラを設置だけしておくのはどうでしょう。
今のカメラは性能が良いから、いい場所から全体を取っておけば、臨場感がある放送になる。

野球はネット裏から撮っておけば、人がいなくても後で編集が出来るんではないかなと思います。
定点の無人カメラを上手く使わないとかなり大変だと思います。
よく結婚式は上から定点で撮っておいて、近くで撮るカメラマンが一人で３台位のカメラを回すのが多くなってきているので、そんな感じで工夫したらどうかなと思います。

平田委員
視聴者の方ってどういう方が多いですか？

橋辺
地域に根差したコミュニティチャンネルなので、スポーツは参加されているお子さんの親御さんとかおじいちゃんおばあちゃんがやはり多くて、こういうイベントは DVD などを購入していただいています。

富岡会長
インタビューが欲しいよね。
普通のスポーツ番組のように、点を取った子や、ホームラン打った子のインタビューとか聞きたい気はするし、勝利したチームの監督のインタビューとか前後にあるといいと思う。
インタビューを入れたりできるのがプロができるところ。
流しっぱなし、撮りっぱなしだと素人が撮ったのと同じ映像になってしまうので、つまらないかなと思います。

平田委員
個人情報の関係は学童は厳しいですけど、テレビ的にも厳しいのでしょうか。

橋辺
基本的に放送させていただくことを前提で毎年撮らせていただけています。
先程の富岡さんの意見と逆行してしまう場合もあるんですけど、逆にクローズアップして顔をアップで撮ることが無いのでそういったところも、起用していただいているのかもしれません。もしかしたら、一人一人を撮った場合には NG の子もいらっしゃるのかもしれないですね。

杉山委員
スタッフでボランティアみたいに手伝ってくれる人はいないんですかね。
費用面があるから大変かなと思うけど、そういうのが好きな人がいれば。

富岡会長
これだけのボリュームになっちゃうと、編集が一番大変ですよね。

市川委員
参加している選手や踊っている方、それを見ている方のインタビューなんかもできたらいいのかな。

富岡会長
出ている方と見ている方の両方を取材しないといけないのかな。
だから必ず応援席にも行くし、選手のインタビューもあって、踊っている人と見ている人両方の声があったほうが、「毎年こんなお祭りが見れて嬉しいです。」っていう観客の方もいらっしゃるかもしれないし、あるいは、どこかの地域からこのお祭りを見に来た人も居るかもしれないし、そういうのもピックアップしてあげるとまた面白い。
いろんな状況の中でお祭りが開催されているので、その背景がなんとなく分かって町全体が盛り上がっていますよ、という番組作りが一番好ましいんですけど、やはりやっている側とみている側両方均等に放送した方がいいかなと思います。

市川委員
その場の感動をどうやって視聴者に伝えるのかというところが一番ネックでしょうけどね。
限られた人数の中でやっていくのは、非常に難しく大変なことだと思います。

平田委員
お祭りは夏ですからね。

市川委員
だから今年は伊東の防災訓練はいつも 9/1 にやるんですけど、暑いから 10 月の終わりにやるようなことを言っていました。
やっぱりカメラマンさんも暑いのは大変ですよね。

富岡会長
お祭りばっかりは日程を変えられないけど、中体連なんかも 6 月になりましたからね。
７月では暑くてどうにもならないから。
どんどん夏の行事が辛くなりますね。

橋辺
番組が変わってしまいますけど、これから小中学校の卒業式の撮影に行くんですけど、卒業

式は大体段取りが分かるんです。
目次などがあって始まりや動きなどを打合せさせていただいて、出来るだけいいアングルになるよう移動して撮影したりします。
スポーツは先が読めない展開が分からないのが面白いところでもあるんですが、先程平田さんからもご意見があった、サッカーのゴールシーンをもっと寄って撮っていくといいねというはその通りなんです。
でも寄ると周りが見えなくなって、他のプレーが取れなかったりして、無難に撮るとするとだんだん引いてしまって全体を撮るようになってしまう。
カメラが 2 台・3 台あると、ゴールの所を寄って撮るカメラだけを作っておいて、
ゴールの時にはそのカメラを採用するとか、そういった形ができるといい映像が撮れると思いますが、１カメだとどうしても全体ばかりを無難に撮ってしまうということがある。
痛いところのご指摘でした。

橋辺
平田さんが見てくださったのはやっさまつりの YouTubeLIVE の映像だと思います。
先程のやっさ祭りもそうなんですけど、弊社では YouTubeLIVE という形で地域の大きなお祭りを放送しております。
やっさまつりは３台据えてそれをスイッチングで切り替えて放送をしました。
また、YOUYOU 湯河原とは違った角度でご覧いただけたと思います。
ちなみに YouTubeLIVE はやっさまつりの他に熱海のこがしまつり、伊東の按針祭の花火大会、東伊豆町の石曳き道灌まつりもあります。
昨年は４つのお祭りを YouTube で放送いたしました。
ちなみに再生回数は、3/10 現在、やっさまつり（7219 回）こがしまつり（11000 回）按針祭（10000 回）石曳道灌まつりが 1442 回再生されていました。
地域のお祭りは結構注目されているなと感じています。

富岡会長
熱海の花火をあちこちで YouTuber が撮っていて臨場感を出して結構うまく作るんですよ。
画像もきれいに撮るしプロ顔負けで頑張らないと YouTuber に負けちゃうなと思うことがあるくらい、結構上手に撮ってます。
敵を知らないと反応できないのでそこに負けないようなクオリティーを出すためには、他の YouTuber や、他局が撮ったものを見たり、特にこがしまつりなんかは結構あるので見てみると優劣がよくわかるので、厳しい評価になるかもしれないけど、面白いと思います。
本当に上手で YouTuber は他人が見たいところをちゃんと撮るんですよね。それが上手いんですよね。

橋辺
YouTube に関しましては、差別化と言いますか、私たちの場合には生中継を LIVE でお届けするというのと、あとはカメラを 3 台４台とか据えて、切替て映像を流すというかたちをとりました。
YouTube で流したものをケーブルテレビで放送ができるので、スイッチングで切り替えた映像を録画しておけば例えばその週の終末にケーブルテレビで放送することが出来ます。
それは編集を大幅にカットできますので、出来るだけ早い段階にケーブルテレビで放送できるのも役に立っております。

市川委員
やっぱり映像と音があるからそれをフルに活用して、ただ映像を流すだけではダメだし、見ている人の感想とかもあるといい。
だからやっさまつりの全体や一人練習風景とか、そういうのも必要だと思います。
それが非常に良かったかなと思います。

―その他ご意見・ご質問
司会（大川）
スポーツ中継のカメラワークやインタビューの導入にまつわるご提言、やっさまつりの構成案など様々なヒントをいただきました。
これらの貴重なご意見につきましては、今後の番組制作に反映してまいりたいと存じます。
以上で、議題は全て終了となりますが、その他番組制作全般についてのご質問やお気づきの点などございましたら、この機会にお聞かせいただければと存じますが、いかがでしょうか。
例えば他の番組ですとか、こういう企画をしたらいいのではないかとか、そういうヒントになるものをいただければ、我々もありがたいと存じております。

市川委員
今日は３．１１ですよね。防災の関係など放送はするのですか。

橋辺
本日から気仙沼ケーブルというケーブルテレビがございまして、そちらの方とお互い様協定という形で、協定を結ばせていただいておりまして、気仙沼ケーブルが関わった３．１１の記録映像等を本日から弊社のコミュニティチャンネルで放送をいたします。

市川委員
私も防災会長をやっている都合上一応気になっているもので、いつも防災訓練をやる時に、NHK スペシャル（津波や、阪神淡路の時など）を録画して住民に見せるんですよ。

今までは 9/1 に見ていたんですけど、この間（3/9）は津波の訓練をやるのにこうですよと、その時はビッグデータの使い方、カーナビとか携帯の使い方の映像を見せたりしました。
３分位でもいいから、防災に役立つ情報をやってもらいたいかなと思います。

富岡会長
地域の防災をやるというのは地域局でしかできない事。
県内テレビだって県のことはやりますけど、各エリアのことはやらないから、ＩＫＣの放送エリアの防災だけにやればいいんですよね。
地域のことは他の局はやってくれないですから。
市川委員
地域独特のものもありますから。

富岡会長
地域でやっていることを防災会にしても行政にしてもやっていることを広く地域の方に告知してあげる。
そこで何かやっているって、わりに知らないんですよ。
防潮堤作っているにしても、なんにしても、なんでこれやっているのかを結構知らない人が多いので、それはある意味拾ってあげると、面白いかもしれない。
命に係わる事なので、とても大事な事なのかなと思います。

橋辺
以前、他社様のケーブルテレビの防災の番組で面白かったのは、レポーターが実際に町を歩いて、これは災害時に無料で飲むことが出来ますとか、こちらに電話ボックスがありますとか、歩きながらそういったものを紹介する番組がありまして、みなさんが身近なところにこういうものがあるんだなと気づかされるのはいいなと思いました。
私たちは動画が仕事ですので、そういった番組もやっていければいいなと思います。

富岡会長
湯河原・熱海・伊東・東伊豆は山火事の事があって、うちの地域って山火事大丈夫かなとみんな思っているから、それだけ当局の方に聞いてもいいし、何をやっているのかというのをそれだって安心なので、そういう情報ってどこからも入ってこないんですよ。今の災害っていうのは他人事だと思っていると明日は我が身なので。

富岡会長
伊豆半島より能登半島の方が道は整備されていていいんですよ。
伊豆半島だったらもっとひどい事になっている。

富岡会長
だから伊豆山の土石流の時はみんな湯河原でＵターンして帰った。
湯河原から一歩もこっちへ入れない。
だから道一本が崩れただけでも、怖いですよ。

平田委員
防災で歩いているところが何メートルとか出たらいいかも。
海抜とか地域によって、この経路が一番安全などを教えてくれたら、そこに行けるかなと思う。

市川委員
地図で見ても実際に行くと坂だったり、がけ崩れの所もあるし、そういうところも調べてくれるといい。

富岡会長
メディアだから、避難所を全部調べてもらって、こんなところでいいのかと調べてあげればいいのではないか。

市川委員
市のハザードマップなんかを見ても確かに広域避難場所は乗っているんですよ。
だけど一時避難場所に指定されているビルとかは乗っていない場合があるので、
そこのところをきめ細かく、そういう機会があれば、やってもらえればなと思います。

平田委員
大人の足なら何分でここに行けますとかあったらいいかな。

市川委員
食べるものとか水はよく言うんですけど、食べた分出さなければいけないから、家庭で在宅非難が出来ても下水道がダメになってしまう。
一見使えそうでもダメになってしまうから、ちゃんとビニールを２重にしてやってくださいとか。

三井
ありがとうございます。
集中豪雨とかしょっちゅう起こり昨年も熱海は陸の孤島になりかけてた時がありまして、

こういったことは本当にお客様が知っていただく情報かなと思っておりますので、今いただいたような助言やご意見をもう一度我々社内でも検討させていただいて、どういったことが、地域のためにできるのか、こういったことが番組の中に反映できるように努めてまいりたいと思います。
ありがとうございます。

杉山副会長
伊豆山の時に伊豆急さんも被災されてその時の映像とか、撮ってあるの？
復旧したところとか流したの？

市川委員
関東大震災の１００年前だって、真鶴駅が海の中に沈んでいるんだからね。

富岡会長
発災した後の復興復旧をメディアが行使するところかもしれないと思いますけどね。
皆が忘れないように、まだ困っている人がいるよということを教えてあげるとかね。
まあ、FM もそうなんですけどね。やっていることはね。
そのために局があるようなもので。
今この自然災害がすごいから、必ず来るので。
南海トラフだっていつ来るか分からないし、考えておかないと。

市川委員
今結構活躍するのがドローンですよね。

富岡会長
結構 IKC さんドローン飛ばしていますよね。

関本
飛ばして撮るのも許可がいるから大変なところもあるみたいで。

富岡会長
地域みんな説明しなきゃいけないし。

市川委員
いざ災害が起きた時に、いちいち許可取っていたらたまりませんからね。

富岡会長
昔は小さなドローンは無許可で良かったんですよ。
カメラが良くなっちゃったから、小さなドローンでも結構きれいな画像が撮れて
やばい画像が流れまわったんですけど、それがだめになったので今は許可がなければね。

司会（大川）
防災にまつわる情報番組についてのアイデア本当にありがとうございました。
それではここで、弊社事業にまつわるトピックスを経営企画部長の関本より申し上げます。

関本
今日は本当にありがとうございます。
審議会の補足と言いますか、当社のこともこういう動きをしているということを
こういう機会にお話をさせていただきたいと思います。
今年 2024 年度にフォーカスをして、お伝えさせていただきます。
3 つほど話題がございます。

１．２０２４年度から当社伊豆急ケーブルネットワークの会社としての運営体制が変更となりました。
こちらは２０２３年度まで社名にありますけれども、伊豆急行　鉄道会社の関連でございますけれども、伊豆急ホールディングスという会社が筆頭株主でしたが、昨年２０２４年４月からは同じ東急グループではあるんですけれども、東急グループの中の我々と同業のケーブルテレビ事業者であります、
イッツコミュニケーションズという、三井の元籍の会社でございますけれども、略称イッツコムが筆頭株主ということになりました。
東急グループの中の同じ業の会社。
我々伊豆急ケーブルネットワークよりも全然大きい会社になるんですけれども、その会社の傘下となったことから、我々としてもより幅広い事業連携を進めていくことが出来るという風に思っております。
社名をそのまま伊豆急ケーブルネットワークとしていることからお分かりの通り、伊豆急ホールディングスは我々の株主として残りますので、今まで通り伊豆急グループとの連携は変わらずに引き続き地域に貢献する企業として引き続き邁進していくものでございます。

２．一昨年　2023 年度に IKC 光というブランドでいわゆる光のネットワークを張り巡らせまして、光のサービスを開始いたしました。
今年度　2024 年度におきまして、湯河原町全域熱海の湯河原側の泉地区と伊東寄りの南熱海のエリアの契約いただいているお客様に関しましては全て光サービスに切替が完了した

というところでございます。
これで大体我々のご契約いただいているお客様の２割ほどを光化が完了したところでございます。
あとは熱海の市街地を中心としたエリアと伊東し、東伊豆町を少しずつですけれども光への切り替えをさせていただいております。
そちらも今後時間をかけてとなりますが、順次切替を進めていくとともに、もちろん新たなお客様の開拓も進めていくという風に考えているところでございます。

３．今年　2024 年度を始まりとした、我社としての中期五か年計画を策定し、スタートしているところでございます。
こちらで先程の光サービスを中心としまして、ご加入者様の拡大、それに伴う収入費の拡大を目指して会社の基盤を強固にしていきたいという風に考えております。
一方 2025 年 6 月、昨今の燃料や資材の高騰、人件費など我々従業員の待遇の改善というところも考えていかなければいけないか、と考えておりまして、こちらへの対応を図るべくサービスの価格改定を予定しているところでございます。
心苦しいところではありますけれども、お客様に一部ご負担をいただくという形で当社として、より高品質で安定した光サービスの推進などお客様の満足度の向上に努めていきたいという風に考えてございますので、何卒ご理解をいただきますようよろしくお願いを申し上げます。

三井
弊社といたしましては、お客様によりご満足いただけるサービス、サービスの品質向上を含めて、満足度向上に引き続き務めてまいりたいと思っております。
今回ご意見いただきました番組についても、やはり地域メディアとしてやはり我々の一番地の存在価値だと思いますので、こちらについては限られた経営環境ではありますけれども、より充実した番組の制作に努めて参りたいと思いますので、引き続きご意見等ございましたら、お寄せいただければ幸いでございます。
引き続きよろしくお願いいたします。

―閉会の挨拶
関本
本日は弊社の番組制作に関しまして、記帳なご意見やご提案をいただきありがとうございました。
私もこの会議には初めて参加させていただきまして、皆さまの本当にありがたいご意見をいただき勉強になりましたし、今後に生かしていきたいと改めて思った次第でございます。
三井が申しましたけれども、このコミュニティチャンネルというのは地域活性化に貢献で

きるメディアであることはもちろんでございますけれども、我々会社としての非常に大きな武器、またはお客様に対するサービスだというふうに思っておりますので、また、一人でも多くのお客様に入っていただくために、また引き続きサービスをご継続いただくためのツールとしても大事に考えておりますので、より一層努力していくという風に考えていきたいと思っております。昨今のテレビ離れとよく言われておりますけれども、
さきほどちょうど YouTube での話題も出ましたけれども、当社としてもテレビ以外でもご視聴いただけるような仕組みですとか、若い世代の皆さまにご指示を頂けるような番組作りに挑戦する必要があると考えております。
なかなか政策に対しても厳しい環境が続く中ではありますけれども、本日いただいたご意見を参考により質の高い番組作りに取り組んでまいりますので、引き続きご意見とご指導をいただければありがたく存じております。
また最後になりますけれども、今年度で審議員の皆さまの任期が満了ということになりますけれども、皆様にはもし可能でございましたら、引き続きご継続をいただけるとありがたいなという風に考えてございます。
こちらについては、改めましてご相談とお願いに上がりたいと考えてございますので、何卒宜しくお願いいたしたいと思っております。